

# 標準アプリケーションインターフェイス (SAI)

APW 製品



METTLER TOLEDO

# 目次

1	APW 製品向けの SAI .....	1-1
1.1.	機器ステータスビット .....	1-1
1.2.	RedAlert アラーム.....	1-3
1.3.	はかりグループ 2 .....	1-5
1.4.	ステータスグループ 2 - アラーム .....	1-6
1.5.	目標値ステータスグループ .....	1-8
1.6.	カスタムアプリケーショングループ 2.....	1-9
1.7.	最後のエラーメッセージステータスグループ .....	1-9
1.8.	カスタムアプリケーションステータスグループ .....	1-9
1.9.	I/O ステータスグループ .....	1-10
1.10.	マスコンパレータステータスグループ .....	1-10
1.11.	SAI ステータスブロックコマンドリスト .....	1-11
1.12.	浮動小数点ブロックの周期的コマンドリスト .....	1-12
1.13.	非周期的コマンドリスト .....	1-18

# 1 APW 製品向けの SAI

## 1.1. 機器ステータスビット

機器のステータスは、さまざまなはかりや機器に固有のバイナリ値の状態を表す個々のビットが含まれるステータスワードで構成されています。この 16 のビットには以下の情報が含まれます。

ビット	機器に固有の値	説明	WMF	SLP85xD
0	シーケンスビット 0	シーケンストグルビットとして使用されます。 制御システムによってコマンドが送信されると、機器はそのコマンドを認識し、それに応じた処理を行ったことを示すためにシーケンスビットの値を変化させます。 シーケンスビットは、データの要求と応答でシーケンスエラーが発生していないことを確認するために一連のコマンド内で使用されます。これは新しいコマンドが発行されるたびに更新されます。	X	X
1	シーケンスビット 1			
2	ハートビート	機器が動作しており、ワード 0、1、2 のデータを更新していることを確認するために 0 と 1 とを (1 秒ごとに) 切り替えます。	X	X
3	データ OK	このビットは、機器が動作しているにもかかわらず、報告されている値が有効かどうかを保証できない場合に 0 に設定されます。 データ OK ビットは以下の場合に 0 に設定されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 機器の電源投入時</li><li>• 機器がセットアップモードになっている場合</li><li>• 機器がテストモードになっている場合</li><li>• ひょう量超過の状態が発生している場合<ul style="list-style-type: none"><li>◦ A/D コンバータが限界値に達している場合</li></ul></li></ul>	X	X

ビット	機器に固有の値	説明	WMF	SLP85xD
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 機器が重量を信頼できないと判断した場合に発生する、製品依存的ひょう量を超過する状態</li> <li>● ひょう量に達しない状態が発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A/Dコンバータが限界値に達している場合</li> <li>○ 機器が重量を信頼できないと判断した場合に発生する、製品依存的ひょう量を下回る状態</li> </ul> </li> </ul>		
4	RedAlert アラーム状態	このアラーム状態はシステムエラーを示します。具体的なアラームの詳細は、1.2、 <b>RedAlertアラーム</b> に記載されています。 1 = アプリケーション障害: 予測診断アラームがトリガされました。または、要求に従ってコマンドを実行できませんでした。	X	X
5	ゼロ点	1 = 総重量値が0の値+/-度量衡検定目量（「e」）の4分の1になっています。	X	X
6	動き	1 = 重量が不安定です。	X	X
7	正味モード	1 = 総重量ではなく正味重量が報告されています。	X	X
8	別の重量単位	1 = 1次単位ではなく別の重量単位が使用されています。	X	X
9	機器に固有のビット 1	これらのビットは、機器に固有のステータス情報（I/Oまたはアプリケーションのステータス）を提供するために使用します。さまざまな機器によるこのビットの使用方法については、セクション 1.1.1、 <b>機器に固有のビット</b> を参照してください。		X
10	機器に固有のビット 2			X
11	機器に固有のビット 3			X
12	機器に固有のビット 4			X
13	機器に固有のビット 5			X
14	機器に固有のビット 6			
15	機器に固有のビット 7			

### 1.1.1. 機器に固有のビット

機器に固有のビット	SLP85xD	
1	単位ビット 1	詳しくは、1.3、 <b>はかりグループ 2</b> を参照してください。
2	単位ビット 2	
3	単位ビット 3	
4	単位ビット 4	
5	テストモード	1 = 機器が、リアルタイムのデータが特殊なテストデータに置き換えられるモードになっています。
6	--	
7	--	

## 1.2. RedAlert アラーム

この重大なアラームステータスビットは、ステータスブロックコマンド 0 が送信されたときにデフォルトのステータスブロックの一部として送信されます。制御システムがコマンドワード内にデータを配置しないと（書き込み）、機器は RedAlert グループのデータを送信します。この 16 のビットには以下の情報が含まれます。

ビット	Red Alert	説明	WMF	SLP85xD
0	校正エラー	1 = 校正データがない、または製品内で計量のばらつきを検出するために実行するアルゴリズムがないため、重量データを信頼できなくなりました。		
1	A/D範囲外、オーバー/アンダー	1 = データの損失または計量モジュールの機械的な損傷のため、重量データを信頼できなくなりました。	X	
2	チェックサム障害	1 = メモリのチェックサム分析で予想どおりの結果が得られません。		
3	重量のブロック	1 = 定義済みの一定期間にわたって重量データが正しく変化しません。		
4	1つのセンサの通信障害 (LCなし)	1 = 接続された1つまたは複数のセンサが正しく動作していません。		
5	お客様定義の過負荷	1 = 重量が許容最大負荷か、それ以上の値になっています。過負荷は条件付きの限界値ですが、機械の破損やスタッフの負傷など、大きなエラーにつながる可能性があります。		

ビット	Red Alert	説明	WMF	SLP85xD
6	お客様定義の過小負荷	1 = 重量が許容最小負荷か、それ以下の値になっています。		
7	ネットワーク障害 (すべてのセル)	マルチセルネットワークだけに適用されます。 1 = ネットワーク全体の障害。応答しているセルがありません。	X	
8	ゼロ範囲外	1 = 重量が指定された限界値または度量衡の限界値を外れているため、制御システムがゼロ点設定コマンドの送信を試みましたが、機器がこのコマンドを受け入れませんでした。		
9	対称性エラー	ロードセルとそのピアとの間の重大なエラーを検出するTraxDSP機能を持つ製品だけに適用されます。 1 = 対称性エラーが検出されました。		
10	温度エラー (LC温度が正常な温度範囲外)	1 = センサが許容温度範囲外です。重量値が影響を受けることや、コンポーネントの障害が早期に発生することがあります。	X	
11	度量衡規制からの逸脱	1 = 製品が度量衡規制を遵守しなくなりました。	X	
12	不明な機器の検出	1 = 不明な機器がシステムに接続されているか、同様のアルゴリズムの制限が検出されました。		
13	テストモード	1 = 機器が、リアルタイムのデータが特殊なテストデータに置き換えられるモードになっています。	X	
14	LC 温度が動作範囲外	1 = 少なくとも1つのロードセルの温度が動作温度範囲外です。		
15	LCパラメータブロックのチェックサムエラー	1 = ロードセルパラメータブロックでチェックサムエラーが発生しました。		

## 1.3. はかりグループ 2

これらのステータスビットは、ステータスブロックコマンド 0 が送信されたときにデフォルトのステータスブロックの一部として送信されます。制御システムがコマンドワード内にデータを配置しないと（書き込み）、機器は、はかりステータスグループでこのデータを送信します。この 16 のビットには以下の情報が含まれます。

ビット	はかりステータスグループ	説明	WMF	SLP85xD
0	単位ビット 1	単位ビットは重量単位を示すために使用します。詳しくは、1.3.1、 <b>単位ビット</b> を参照してください。	X	
1	単位ビット 2			
2	単位ビット 3			
3	単位ビット 4			
4	MinWeigh エラー	1 = はかりが許容最小計量範囲に達していません。	X	
5	範囲ビット 1	範囲ビットは、表示された値に基づいて重量範囲または間隔を示すために使用します。詳しくは、1.3.2、 <b>範囲ビット</b> を参照してください。	X	
6	範囲ビット 2			
7	セットアップ中	1 = センサがセットアップモードになっています。	X	
8	電源投入時ゼロ点設定の失敗	1 = はかりが電源投入時のゼロ点の復元/リセットを完了できませんでした。	X	
9	GWP 許容範囲外	1 = はかりで GWP 許容範囲外エラーが発生しました。		
10	選択したはかり	マルチスケール機器のみ: 1 = はかりが選択されているため、そのはかりにフォーカスが置かれています。そのはかりが機器のディスプレイに表示されています。	X	
11	オープン	未使用（常に 0）		
12	開く			
13	開く			
14	開く			
15	オープン			

### 1.3.1. 単位ビット

単位ビット 1	単位ビット 2	単位ビット 3	単位ビット 4	値
0	0	0	0	g
0	0	0	1	kg
0	0	1	0	lb
0	0	1	1	t

単位ビット 1	単位ビット 2	単位ビット 3	単位ビット 4	値
0	1	0	0	トン
0/1	1	0	1	Reserved
0	1	1	0	Reserved
0	1	1	1	カスタム
1000~1111				未使用

### 1.3.2. 範囲ビット

範囲ビット 1	範囲ビット 2	値
0	0	範囲/間隔 1
0	1	範囲/間隔 2
1	0	範囲/間隔 3
1	1	予約済み

## 1.4. ステータスグループ 2 - アラーム

アプリケーションアラームステータスビットは、ステータスブロックコマンド「21」が送信された場合に設定されます。送信されない場合は、はかりステータスグループ 2 の情報が表示されます。

ビット	ソフトアラーム	説明	WMF	SLP85xD
0	変更速度	製品、アプリケーション、またはお客様が、はかりが重量を検出していることを保証するための方法として重量/時間シナリオを定義します。		
1	通信エラー	1 = センサに接続された機器の通信が仕様に従って動作していません。	X	
2	過剰電圧/電圧不足	1 = システム電源の動的測定をサポートしている機器の電圧が高すぎるか低すぎます。		
3	重量ドリフト	1 = ひずみゲージセンサがブリッジを破損しているか、水や光による損傷を受けています。		



ビット	ソフトアラーム	説明	WMF	SLP85xD
4	破損	1 = センサの筐体が破損し、そのために湿気や水など、環境の影響を受けやすくなっています。 ほとんどの場合、破損を修理しない、またはセンサを交換しないと障害が発生します。		
5	校正期限切れ	1 = 予防サービスや再校正の前にトランザクションの最大数に達したか、または期限切れになりました。 このアラームは、計量トランザクションの回数が N+1 に達したときにオンになります。		
6	アプリケーション定義 0	詳しくは、1.4.1、 <b>アプリケーションに固有のソフトアラーム</b> を参照してください。		X
7	アプリケーション定義 1			X
8	アプリケーション定義 2			X
9	アプリケーション定義 3		X	X
10	アプリケーション定義 4			X
11	アプリケーション定義 5			X
12	アプリケーション定義 6		X	X
13	アプリケーション定義 7			X
14	アプリケーション定義 8			X
15	アプリケーション定義 9			X

### 1.4.1. アプリケーションに固有のソフトアラーム

	WMF	SLP85xD
アプリケーション定義 0	なし	不揮発性データメモリエラー
アプリケーション定義 1	なし	ゼロドリフトエラー
アプリケーション定義 2	なし	供給電圧エラー
アプリケーション定義 3	PCBA 温度エラー	PCBA 温度エラー
アプリケーション定義 4	なし	測定センサ温度の警告
アプリケーション定義 5	なし	測定センサ温度勾配の警告
アプリケーション定義 6	PCBA 温度の警告	PCBA 温度の警告
アプリケーション定義 7	なし	供給電圧の警告
アプリケーション定義 8	なし	ゼロドリフトの警告
アプリケーション定義 9	なし	ロードセルの過負荷

## 1.5. 目標値ステータスグループ

これらのステータスビットは、このステータスワードを組み合わせて含むステータスブロックコマンドがステータス書き込みコマンドワードで送信されたときに送信される目標値アプリケーションビットです。現時点では、本書の対象となる機器で目標値ステータスグループをサポートするものではありません。

ビット	データ	説明	WMF	SLP85xD
0	供給	目標値の供給がアクティブになっている場合にオンになります（最終カットオフの前）。		
1	高速供給	目標値の高速供給がアクティブになっている場合にオンになります。		
2	粗供給	オプションの第3の速度。粗供給がアクティブになっている場合にオンになります（高速供給の前）。		
3	供給ステージ2			
4	供給ステージ1			
5	許容誤差OK	重量値が目標値の許容範囲内の場合にオンになります。		
6	オーバーゾーン	重量値がオーバーゾーンの場合（高すぎる）、またはオプションで重量値が+TOLを外れる場合にオンになります。		
7	アンダーゾーン	重量値がアンダーゾーンの場合（低すぎる）、またはオプションで重量値が-TOLを外れる場合にオンになります。		
8	大重量ゾーン	重量値が大重量ゾーン内の場合（許容上限）にオンになります。		
9	軽量ゾーン	重量値が軽量ゾーン内の場合（許容下限）にオンになります。		
10	開く	未使用		
11	開く	未使用		
12	開く	未使用		
13	開く	未使用		
14	開く	未使用		
15	開く	未使用		

## 1.6. カスタムアプリケーショングループ 2

現時点では、本書の対象となる機器でこのグループをサポートするものではありません。

## 1.7. 最後のエラーメッセージステータスグループ

現時点では、本書の対象となる機器でこのグループをサポートするものではありません。

## 1.8. カスタムアプリケーションステータスグループ

カスタムアプリケーションステータスビットは、ステータスブロックコマンド「23」が発行された場合にのみ送信されます。その機器で充填アプリケーションを使用する方法について詳しくは、SLP85xDの個別のアプリケーションノートを参照してください。

ビット	カスタムアプリケーションステータスビット、グループ 1	WMF	SLP85xD
0	アプリケーション定義 0	なし	一般的なステータスビット
1	アプリケーション定義 1	なし	風袋重量+
2	アプリケーション定義 2	なし	風袋重量-
3	アプリケーション定義 3	なし	TOUT1
4	アプリケーション定義 4	なし	TOUT2
5	アプリケーション定義 5	なし	TOUT3
6	アプリケーション定義 6	なし	TOUT4
7	アプリケーション定義 7	なし	TOUT5
8	アプリケーション定義 8	なし	袋/ボトルの破損
9	アプリケーション定義 9	なし	TOL-
10	アプリケーション定義 10	なし	TOL+
11	アプリケーション定義 11	なし	空
12	アプリケーション定義 12	なし	準備完了
13	アプリケーション定義 13	なし	実行/停止
14	アプリケーション定義 14	なし	なし
15	アプリケーション定義 15	なし	なし

## 1.9. I/O ステータスグループ

物理 I/O をサポートする機器では、このステータスグループには I/O の入力と出力のステータスビットの組み合わせが含まれます。物理 I/O をサポートしない機器には、機器内部の入力/出力を仮想的に表す変数と論理があります。機器が I/O グループをサポートしていない場合、サポートされていない I/O グループについてコマンド無効応答が送信されます。入力/出力ステータスビットは、関連する入力/出力の状態を反映します（1 = オン、0 = オフ）。

ビット	データ	WMF	SLP85xD
0	入力 1		X
1	入力 2		X
2	入力 3		X
3	入力 4		
4	入力 5		
5	入力 6		
6	入力 7		
7	入力 8		
8	出力 1		X
9	出力 2		X
10	出力 3		X
11	出力 4		X
12	出力 5		X
13	出力 6		X
14	出力 7		X
15	出力 8		X

## 1.10. マスコンパレータステータスグループ

これらのステータスビットは、このステータスワードを組み合わせることで含むステータスブロックコマンドがステータス書き込みコマンドワードで送信されたときに送信されるマスコンパレータアプリケーションビットです。現時点では、本書の対象となる機器でマスコンパレータをサポートするものではありません。

ビット	データ	WMF	SLP85xD
0	マスコンパレータ 1		
1	マスコンパレータ 2		
2	マスコンパレータ 3		
3	マスコンパレータ 4		
4	マスコンパレータ 5		
5	マスコンパレータ 6		
6	マスコンパレータ 7		
7	マスコンパレータ 8		
8	マスコンパレータ 9		
9	マスコンパレータ 10		
10	マスコンパレータ 11		
11	マスコンパレータ 12		
12	マスコンパレータ 13		
13	マスコンパレータ 14		
14	マスコンパレータ 15		
15	マスコンパレータ 16		

## 1.11. SAI ステータスブロックコマンドリスト

値	説明	WMF	SLP85xD
0	デフォルトのステータスワードを報告	X	X
1	RedAlertアラーム、はかりグループ、I/Oグループを報告	X	X
2	対象/マスコンパレータのステータスを報告		
4	目標値 1、I/O グループ 2、カスタムアプリケーショングループ 2 を報告		
16	マスコンパレータの組み合わせ 1 を報告		
21	RedAlert アラーム、アラーム/はかりグループ 2 を報告	X	
23	アラームステータス、I/Oステータス、お客様アプリケーションのステータスを報告		X
100	最後のエラーコードを報告		

## 1.12. 浮動小数点ブロックの周期的コマンドリスト

値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
0	総重量 - 丸め済み	浮動小数点 ブロック	X	X
1	総重量 - 丸め済み	浮動小数点 ブロック	X	X
2	風袋重量 - 丸め済み	浮動小数点 ブロック	X	X
3	正味重量 - 丸め済み	浮動小数点 ブロック	X	X
5	総重量 - 内部分解能	浮動小数点 ブロック	X	X
6	風袋重量 - 内部分解能	浮動小数点 ブロック	X	X
7	正味重量 - 内部分解能	浮動小数点 ブロック	X	X
14	正味重量 - 別の重量経路	浮動小数点 ブロック	X	
20	目標重量 (表示単位) を読み取り	浮動小数点 ブロック	X	
83	一般的な安定化タイムアウト (秒) を報告 パラメータ: 0~65535 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
40	マスコンパレータ 1 の限界値を報告	浮動小数点 ブロック		
42	マスコンパレータ 2 の限界値を報告	浮動小数点 ブロック		
44	マスコンパレータ 3 の限界値を報告	浮動小数点 ブロック		
46	マスコンパレータ 4 の限界値を報告	浮動小数点 ブロック		
48	マスコンパレータ 5 の限界値を報告	浮動小数点 ブロック		
84	ゼロ点設定の観察時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	

値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
85	ゼロ点設定の許容誤差を報告 パラメータ: 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
86	風袋引きの観察時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
87	風袋引きの許容誤差を報告 パラメータ: 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
88	計量の観察時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
89	計量の許容誤差を報告 パラメータ: 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
90	計量モードを報告 パラメータ: 0 = 汎用計量 2 = 固定フィルタ	浮動小数点 ブロック	X	X
91	計量環境を報告 パラメータ: 0 = 非常に安定 1 = 安定 2 = 標準 3 = 不安定 4 = 非常に不安定	浮動小数点 ブロック	X	X
92	フィルタカットオフ周波数を報告 パラメータ: 0 = 事前に定義済みの周波数を使用、計量環境で変更可能 0.001~20.0Hz = カットオフ周波数	浮動小数点 ブロック	X	X
96	重量の最小表示を報告 パラメータ: 0 = 1 桁 1 = 10 桁 2 = 100 桁 3 = 1000 桁 4 = 2 桁 5 = 5 桁	浮動小数点 ブロック	X	
97	内部温度 (°C)	浮動小数点 ブロック	X	
98	分注経路のフィルタカットオフ周波数を報告	浮動小数点 ブロック	X	

値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
201	事前設定された風袋引き (表示単位) <b>パラメータ:</b> 浮動小数点値で置かれた風袋引き済み重量 (float 32)	浮動小数点 ブロック	X	X
220	目標重量を書き込み (表示単位)	浮動小数点 ブロック	X	X
240	マスコンパレータ 1 の限界値を書き込み	浮動小数点 ブロック		
242	マスコンパレータ 2 の限界値を書き込み	浮動小数点 ブロック		
244	マスコンパレータ 3 の限界値を書き込み	浮動小数点 ブロック		
246	マスコンパレータ 4 の限界値を書き込み	浮動小数点 ブロック		
248	マスコンパレータ 5 の限界値を書き込み	浮動小数点 ブロック		
283	一般的な安定化タイムアウト (秒) を書き込み <b>パラメータ:</b> 0~65535 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
284	ゼロ点設定の観察時間を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
285	ゼロ点設定の許容誤差を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
286	風袋引きの観察時間を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
287	風袋引きの許容誤差を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
288	計量の観察時間を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.1~4.0 秒間	浮動小数点 ブロック	X	
289	計量の許容誤差を書き込み <b>パラメータ:</b> 0.25~1000 桁	浮動小数点 ブロック	X	
290	計量モードを書き込み <b>パラメータ:</b> 0 = 汎用計量、2 = 固定フィルタ	浮動小数点 ブロック	X	X



値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
291	計量環境を書き込み パラメータ: 0 = 非常に安定 1 = 安定 2 = 標準 3 = 不安定 4 = 非常に不安定	浮動小数点 ブロック	X	X
292	フィルタカットオフ周波数を書き込み パラメータ: 0 = 事前に定義済みの周波数を使用、計量環 境で変更可能 0.001~20.0Hz = カットオフ周波数	浮動小数点 ブロック	X	X
296	重量の最小表示を書き込み パラメータ: 0 = 1 桁 1 = 10 桁 2 = 100 桁 3 = 1000 桁 4 = 2 桁 5 = 5 桁	浮動小数点 ブロック	X	
298	分注経路のフィルタカットオフ周波数を書き込み	浮動小数点 ブロック	X	
400	安定時に風袋引き	浮動小数点 ブロック	X	X
401	安定時にゼロ点設定	浮動小数点 ブロック	X	X
402	風袋引きをクリア	浮動小数点 ブロック	X	X
403	風袋引きを即時実行	浮動小数点 ブロック	X	X
404	即時ゼロ点設定	浮動小数点 ブロック	X	X
500	充填アプリケーションを実行	浮動小数点 ブロック		X
501	充填アプリケーションを一時停止	浮動小数点 ブロック		X
502	充填アプリケーションを再開	浮動小数点 ブロック		X

値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
510	マスコンパレータを適用	浮動小数点 ブロック		
1000	すべての内部/外部出力をオフ	浮動小数点 ブロック		
1900	アラームビット	浮動小数点 ブロック		X
1901	動作ビット	浮動小数点 ブロック	X	X
1902	正味モードビット	浮動小数点 ブロック		X
1903	ゼロ点ビット	浮動小数点 ブロック		X
1904	別の重量ビット	浮動小数点 ブロック		X
1905	機器ビット 1	浮動小数点 ブロック		X
1906	機器ビット 2	浮動小数点 ブロック		X
1907	機器ビット 3	浮動小数点 ブロック		X
1908	機器ビット 4	浮動小数点 ブロック		X
1909	機器ビット 5	浮動小数点 ブロック		X
1910	機器ビット 6	浮動小数点 ブロック		X
1911	機器ビット 7	浮動小数点 ブロック		X
1912	性能テスト値	浮動小数点 ブロック		X
2000	動作コマンドなし - コマンドのテストに使用	浮動小数点 ブロック		X
2002	シーケンスの次のステップへ	浮動小数点 ブロック		

値	説明	ブロック	WMF	SLP85xD
2003	シーケンスの次のステップへ	浮動小数点 ブロック		
2004	シーケンス中断 …応答値はプロセスの中断を示す	浮動小数点 ブロック		X
2005	ステップに失敗した後、シーケンスの直前のステップを再 試行	浮動小数点 ブロック		
2006	ステップに失敗した後、そのステップを飛ばしてシーケン スの次のステップに進む	浮動小数点 ブロック		
2045	ステップに成功、次の値	浮動小数点 ブロック		X
2046	ステップに成功	浮動小数点 ブロック		X
2047	コマンドを受信し、評価中（プロセス中）	浮動小数点 ブロック		X
8080h	周期的テストモードを開始	浮動小数点 ブロック		X
8888h	周期的テストモードを停止	浮動小数点 ブロック		X

## 1.13. 非周期的コマンドリスト

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profinet インデックス	WMF	SLP85xD
総重量 - 丸め済み	定義済み分解能での総重量データ	読み取り	Float 32	1	0x14	0x300	0x01	0x01	0、1	0x2000	X	X
総重量 - 丸め済み	定義済み分解能での総重量データ	読み取り	Float 32	1	0x15	0x300	0x01	0x02	0、1	0x2001	X	X
風袋重量 - 丸め済み	定義済み分解能での風袋重量データ	読み取り	Float 32	1	0x16	0x300	0x01	0x03	0、1	0x2002	X	X
正味重量 - 丸め済み	定義済み分解能での正味重量データ	読み取り	Float 32	1	0x17	0x300	0x01	0x04	0、1	0x2003	X	X
総重量 - 内部分解能	内部分解能での総重量データ	読み取り	Float 32	1	0x18	0x300	0x01	0x05	0、1	0x2004	X	X
風袋重量 - 内部分解能	内部分解能での風袋重量データ	読み取り	Float 32	1	0x19	0x300	0x01	0x06	0、1	0x2005	X	X
正味重量 - 内部分解能	内部分解能での正味重量データ	読み取り	Float 32	1	0x1A	0x300	0x01	0x07	0、1	0x2006	X	X
風袋引き手順ステータスビット	風袋引き動作ステータスを報告（非周期的インターフェイスから風袋引きをトリガする場合に使用） <b>パラメータ:</b> 0 = 風袋引き手順完了 1 = 風袋引き手順実行中	読み取り	UInt 16	1	0x1F	0x300	0x01	0x16	0、1	0x2008	X	X
ゼロ点設定手順ステータスビット	ゼロ点設定動作ステータスを報告（非周期的インターフェイスからゼロ点設定をトリガする場合に使用） <b>パラメータ:</b> 0 = ゼロ点設定手順完了 1 = ゼロ点設定手順実行中	読み取り	UInt 16	1	0x24	0x300	0x01	0x17	0、1	0x2009	X	X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
重量単位	重量単位 (はかりステータスグループ 2 の単位を表す数字)	読み取り/書き込み	byte、 1	1	0x99	0x300	0x01	0x18	0、 1	0x200A		
安定時に風袋引き	動きの限界値内に入ったときに風袋引き	書き込み	Uint 8	1	0x1C	0x300	0x01	0x09	0、 1	0x2010	X	X
風袋引きを即時実行	動きのチェックなし、風袋引きを実行	書き込み	Uint 8	1	0x1E	0x300	0x01	0x10	0、 1	0x2011	X	X
風袋引きをクリア	動きのチェックなし、風袋引きクリアを実行	書き込み	Uint 8	1	0x1D	0x300	0x01	0x11	0、 1	0x2012	X	X
安定時にゼロ点設定	動きの限界値内に入ったときにゼロ点設定	書き込み	Uint 8	1	0x22	0x300	0x01	0x14	0、 1	0x2013	X	X
即時ゼロ点設定	動きのチェックなし、ゼロ点設定を実行	書き込み	Uint 8	1	0x23	0x300	0x01	0x15	0、 1	0x2014	X	X
事前設定された風袋引き (表示単位)	風袋引きレジスタに書き込み (事前設定された風袋引き) <b>パラメータ:</b> 風袋引き済み重量 (float 32)	書き込み	Float 32	1	0x1B	0x300	0x01	0x08	0、 1	0x2020	X	X
すべての内部/外部出力をオフ	すべての出力を強制的にオフ	書き込み	byte、 1	1	0x26	0x301	0x01	0x02	0、 1	0x2031		
はかりステータスグループを報告	本書のセクション 3 の仕様に従ったはかりステータスグループ	読み取り	Uint 16	1	0x27	0x302	0x01	0x01	0、 1	0x2040		
アラームステータスグループ	本書のセクション 4 の仕様に従ったアプリケーションに固有のエラー	読み取り	Uint 16	1	0x28	0x302	0x01	0x02	0、 1	0x2041		
RedAlert グループを報告	本書のセクション 2 の仕様に従った RedAlert ステータス	読み取り	Uint 16	1	0x29	0x302	0x01	0x03	0、 1	0x2042		
はかりステータスグループを報告	本書のセクション 4 の仕様に従ったはかりステータスグループ 2	読み取り	Uint 16	1	0x2A	0x302	0x01	0x04	0、 1	0x2043		
モデルタイプ、パート 1	識別番号 (メイン ID)	読み取り	String 160	1	0x2B	0x303	0x01	0x01	0、 1	0x2050	X	X
モデルタイプ、パート 2	識別番号# 2	読み取り	String 160	1	0x2C	0x303	0x01	0x02	0、 1	0x2051		X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
モデルタイプ、パート 3	識別番号# 3	読み取り	String 160	1	0x2D	0x303	0x01	0x03	0、1	0x2052		X
ソフトウェア OS バージョン	ソフトウェア OS バージョン	読み取り	String 160	1	0x2E	0x303	0x01	0x04	0、1	0x2053	X	X
フィールドバススタックバージョン	フィールドバススタックバージョン	読み取り	String 160	1	0x2F	0x303	0x01	0x05	0、1	0x2054	X	X
ソフトウェアアプリケーションバージョン	ソフトウェアアプリバージョン	読み取り	String 160	1	0x30	0x303	0x01	0x06	0、1	0x2055	X	X
SAI バージョン	SAI 仕様バージョン番号	読み取り	String 160	1	0x31	0x303	0x01	0x07	0、1	0x2056	X	X
シリアル番号	機器のメインシリアル番号	読み取り	String 160	1	0x33	0x303	0x01	0x08	0、1	0x2057		
機器識別番号	ユーザーが設定可能な ID	読み取り	String 160	1	0x34	0x303	0x01	0x09	0、1	0x2058		
未使用計量範囲を問い合わせ	未使用計量範囲	読み取り	Struct 128	1	0x35	0x303	0x01	0x10	0、1	0x2059		
初期ゼロ点情報を取得	初期ゼロ点情報	読み取り	Struct 16	1	0x36	0x303	0x01	0x11	0、1	0x205A		
内部分銅を使用した調整を開始	内部調整を開始	書き込み	UInt 8	1	0x80	0x410	0x01	0x01	0、1	0x4001	X	X
外部分銅を使用した調整を開始	外部調整を開始	書き込み	UInt 8	1	0x81	0x410	0x01	0x02	0、1	0x4002	X	X
お客様標準校正を開始	ユーザー標準調整を開始	書き込み	UInt 8	1	0x82	0x410	0x01	0x03	0、1	0x4003	X	X
調整/テストをキャンセル (テスト機能/調整を中断)	テスト機能/調整を中断	書き込み	UInt 8	1	0x83	0x410	0x01	0x04	0、1	0x4004	X	X
内部分銅を使用したテストを開始	内部分銅を使用したテスト機能を開始	書き込み	UInt 8	1	0x84	0x410	0x01	0x05	0、1	0x4005	X	
外部分銅を使用したテストを開始	外部分銅を使用したテスト機能を開始	書き込み	UInt 8	1	0x85	0x410	0x01	0x06	0、1	0x4006	X	X
ステータス情報を調整/テスト	ステータスを調整/テスト	読み取り	UInt 16	1	0x86	0x410	0x01	0x07	0、1	0x4007	X	X
偏差をテスト	値を調整/テスト	読み取り	Float 32	1	0x87	0x410	0x01	0x08	0、1	0x4008	X	X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
外部調整分銅	外部調整分銅を設定し、調整を開始。 <b>パラメータ:</b> はかりステータスグループ 2 に従って選択した単位での重量	書き込み	Float 32	1	0x88	0x410	0x01	0x09	0、1	0x4009	X	X
直線範囲の数	使用する直線ポイントの数 <b>パラメータ:</b> 0 = なし 1 = 3 個の直線ポイント 2 = 4 個の直線ポイント 3 = 5 個の直線ポイント	読み取り/ 書き込み	unsigned short, 2	1	0x89	0x410	0x01	0x0A	0、1	0x400A		
ゼロ点調整	ゼロ点をリセット (絶対標準)	書き込み	byte, 1	1	0x8A	0x410	0x01	0x0B	0、1	0x400B		
スパン調整値 1 x (低)	5 点直線性調整で使用	読み取り/ 書き込み	float, 4	1	0x8C	0x410	0x01	0x0C	0、1	0x400C		
スパン調整値 2 (低)	5 点/4 点直線性調整で使用	読み取り/ 書き込み	float, 4	1	0x8D	0x410	0x01	0x0D	0、1	0x400D		
スパン調整値 3 (中)	5、4、3 点直線性調整で使用	読み取り/ 書き込み	float, 4	1	0x8E	0x410	0x01	0x0E	0、1	0x400E		
スパン調整値 4 (高)	スパン調整のすべてのフォームで使用	読み取り/ 書き込み	float, 4	1	0x8F	0x410	0x01	0x0F	0、1	0x400F		
調整を検証 (確認)	調整を検証	読み取り/ 書き込み	byte, 1	1	0x90	0x410	0x01	0x10	0、1	0x4010		
要求された重量	実行中の調整または校正手順で現在要求し ている外部校正重量を取得	読み取り	Float 32	1	0x91	0x410	0x01	0x11	0、1	0x4011	X	X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
外部点検用分銅	デフォルトを使用しない場合に外部校正点検用分銅を設定 パラメータ: はかりステータスグループ 2 に従って選択した単位での重量	書き込み	Float 32	1	0x92	0x410	0x01	0x12	0、1	0x4012	X	X
スパン調整カウント 1x (低)	校正を読み取る/書き込むためにスパン調整値とともに使用	読み取り/書き込み	long、4	1	0x93	0x410	0x01	0x13	0、1	0x4013		
スパン調整カウント 2 (低)	校正を読み取る/書き込むためにスパン調整値とともに使用	読み取り/書き込み	long、4	1	0x94	0x410	0x01	0x14	0、1	0x4014		
スパン調整カウント 3 (中)	校正を読み取る/書き込むためにスパン調整値とともに使用	読み取り/書き込み	long、4	1	0x95	0x410	0x01	0x15	0、1	0x4015		
スパン調整カウント 4 (高)	校正を読み取る/書き込むためにスパン調整値とともに使用	読み取り/書き込み	long、4	1	0x96	0x410	0x01	0x16	0、1	0x4016		
ステップ数を設定し、ステップ校正を開始	ステップ数を設定し、ステップ校正を開始	書き込み	byte、1	1	0x97	0x410	0x01	0x17	0、1	0x4017		
校正の現在のステップの重量値を設定し、ステップを開始	校正の現在のステップの重量値を設定し、ステップを開始	書き込み	float、4	1	0x98	0x410	0x01	0x18	0、1	0x4018		
CalFree	CalFree 校正の開始をトリガ	書き込み	byte、1	1	0x9B	0x410	0x01	0x1A	0、1	0x401A		
Calfree セルひょう量	CalFree のパラメータ	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x9C	0x410	0x01	0x1B	0、1	0x401B		
Calfree の単位	CalFree のパラメータ	読み取り/書き込み	Uint 8	1	0x9D	0x410	0x01	0x1C	0、1	0x401C		
Calfree セル出力	CalFree のパラメータ	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x9E	0x410	0x01	0x1D	0、1	0x401D		



コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
CalFree Plus	CalFree Plus 校正の開始をトリガ	読み取り/書き込み	unsigned short、 2	1	0x9F	0x410	0x01	0x1E	0、 1	0x401E		
ステップモードで一時的な重量を取得	校正の現在のステップの重量値を設定し、ステップを開始	読み取り	float、 4	1	0x8B	0x410	0x01	0x1F	0、 1	0x401F		
ステップ制御 C5 を有効化/無効化		読み取り	float、 4	1	0x8B	0x410	0x01	0x1F	0、 1	0x401F		
ゼロ点調整カウント	ゼロ点をリセット (絶対標準)	読み取り/書き込み	long、 4	1	0xE5	0x410	0x01	0x20	0、 1	0x4020		
感度調整 (トリガ済み) C8 1-4		読み取り/書き込み	long、 4	1	0xE5	0x410	0x01	0x20	0、 1	0x4020		
感度調整 (表示重量) C8 7	感度調整 (表示重量)	書き込み	Struct 32	3	0x02	0x410	0x01	0x21	0、 1	0x4021		
マスコンパレータステータスグループ 1	マスコンパレータステータスグループ 1	読み取り	short、 2	1	0xD0	0x411	0x01	0x01	0、 1	0x4051		
使用中のマスコンパレータの数を報告	使用中のマスコンパレータの数を読み取り	読み取り	byte、 1	2	0x03	0x411	0x01	0x04	0、 1	0x4054		
使用中のマスコンパレータの数を書き込み	使用中のマスコンパレータの数を書き込み	書き込み	byte、 1	2	0x03	0x411	0x01	0x04	0、 1	0x4054		
マスコンパレータ 1 の限界値を報告	マスコンパレータ#1 の値を読み取り	読み取り	float、 4	2	0x04	0x411	0x01	0x05	0、 1	0x4055		
マスコンパレータ 1 の限界値を書き込み	マスコンパレータ#1 の値を書き込み	書き込み	float、 4	2	0x04	0x411	0x01	0x05	0、 1	0x4055		
マスコンパレータ 2 の限界値を報告	マスコンパレータ#2 の値を読み取り	読み取り	float、 4	2	0x05	0x411	0x01	0x06	0、 1	0x4056		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
マスコンパレータ 2 の限界値を書き込み	マスコンパレータ#2 の値を書き込み	書き込み	float、4	2	0x05	0x411	0x01	0x06	0、1	0x4056		
マスコンパレータ 3 の限界値を報告	マスコンパレータ#3 の値を読み取り	読み取り	float、4	2	0x06	0x411	0x01	0x07	0、1	0x4057		
マスコンパレータ 3 の限界値を書き込み	マスコンパレータ#3 の値を書き込み	書き込み	float、4	2	0x06	0x411	0x01	0x07	0、1	0x4057		
マスコンパレータ 4 の限界値を報告	マスコンパレータ#4 の値を読み取り	読み取り	float、4	2	0x07	0x411	0x01	0x08	0、1	0x4058		
マスコンパレータ 4 の限界値を書き込み	マスコンパレータ#4 の値を書き込み	書き込み	float、4	2	0x07	0x411	0x01	0x08	0、1	0x4058		
マスコンパレータ 5 の限界値を報告	マスコンパレータ#5 の値を読み取り	読み取り	float、4	2	0x08	0x411	0x01	0x09	0、1	0x4059		
マスコンパレータ 5 の限界値を書き込み	マスコンパレータ#5 の値を書き込み	書き込み	float、4	2	0x08	0x411	0x01	0x09	0、1	0x4059		
マスコンパレータの適用をトリガ	新しいマスコンパレータ値の使用を機器に指示	書き込み	byte、1	2	0x1E	0x411	0x01	0x1F	0、1	0x406F		
電圧モニタチャンネル	電圧モニタチャンネルを表示	読み取り	Struct 256	1	0xB0	0x413	0x01	0x11	0、1	0x4161		X
荷重サイクルモニタチャンネル	荷重サイクルモニタチャンネルを表示	読み取り	Struct 512	1	0xB1	0x413	0x01	0x12	0、1	0x4162		X
ゼロ点偏差	ゼロ点偏差を問い合わせ	読み取り	Float 32	1	0xB2	0x413	0x01	0x13	0、1	0x4163		X
ゼロ点偏差モニタチャンネル	ゼロ点偏差モニタチャンネルを表示	読み取り	Struct 256	1	0xB3	0x413	0x01	0x14	0、1	0x4164		X
温度モニタチャンネル	温度モニタチャンネルを表示	読み取り	Struct 512	1	0xB4	0x413	0x01	0x15	0、1	0x4165		X
温度勾配	温度勾配を問い合わせ	読み取り	Struct 96	1	0xB5	0x413	0x01	0x16	0、1	0x4166		X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
温度勾配チャンネル	温度勾配チャンネルを表示	読み取り	Struct 128	1	0xB6	0x413	0x01	0x17	0、1	0x4167		X
温度値	温度値を問い合わせ（複数チャンネル）	読み取り	Struct 128	1	0xB7	0x413	0x01	0x18	0、1	0x4168		X
内部温度	ロードセル温度値を問い合わせ	読み取り	Float 32	1	0xB8	0x413	0x01	0x19	0、1	0x4169	X	
機器を再起動	機器を再起動 - ソフトウェアを再起動	書き込み	Uint 8	1	0xC9	0x413	0x01	0x2A	0、1	0x417A		
CANMaster 電源診断を更新	CANMaster の電圧と電流を更新する1つのコマンドを送信	書き込み	byte、1	1	0xCE	0x413	0x01	0x2E	0、1	0x417E		
LC の最大電圧	履歴内の LC の最大供給電圧を問い合わせ (mV)	読み取り	unsigned short、2	1	0xCF	0x413	0x01	0x2F	0、1	0x417F		
LC の最大供給電流	履歴内の LC の最大供給電流を問い合わせ (mA)	読み取り	unsigned short、2	1	0xEC	0x413	0x01	0x30	0、1	0x4180		
電源エラーカウント	電源エラーカウントを問い合わせ。過剰電流が発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	unsigned short、2	1	0xD1	0x413	0x01	0x31	0、1	0x4181		
供給電流エラーカウント	供給電流エラーカウントを問い合わせ。過剰電流が発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	unsigned short、2	1	0xD2	0x413	0x01	0x32	0、1	0x4182		
CANH の最大電圧	CANH の最大電圧を問い合わせ (mv)	読み取り	short、2	1	0xD3	0x413	0x01	0x33	0、1	0x4183		
CANH の最小電圧	CANH の最小電圧を問い合わせ (mv)	読み取り	short、2	1	0xD4	0x413	0x01	0x34	0、1	0x4184		
CANL の最大電圧	CANL の最大電圧を問い合わせ (mv)	読み取り	short、2	1	0xD5	0x413	0x01	0x35	0、1	0x4185		
CANL の最小電圧	CANL の最小電圧を問い合わせ (mv)	読み取り	short、2	1	0xD6	0x413	0x01	0x36	0、1	0x4186		
LC の現在の電圧	LC の現在の電圧を問い合わせ	読み取り	short、2	1	0xD7	0x413	0x01	0x37	0、1	0x4187		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
LC の現在の電流	LC の現在の電流を問い合わせ	読み取り	short、 2	1	0xD8	0x413	0x01	0x38	0、 1	0x4188		
LC 電圧診断を更新	1 を送信し、LC の現在の VIN_LC、VIN_COM、V_SHIELD 電圧を更新（すべての LC はデータの更新に 1 秒間を要する）	書き込み	byte、 1	1	0xD9	0x413	0x01	0x39	0、 1	0x4189		
LC の VIN_LC	LC の現在の VIN_LC 電圧を問い合わせ (mV)	読み取り	long*1 4、 56	1	0xDA	0x413	0x01	0x3A	0、 1	0x418A		
LC の温度	すべての LC の現在の温度を問い合わせ (°C)	読み取り	long*1 4、 56	1	0xDB	0x413	0x01	0x3B	0、 1	0x418B		
LC の VIN_COM	すべての LC の現在の VIN_COM 電圧を問い合わせ (mV)	読み取り	long*1 4、 56	1	0xDC	0x413	0x01	0x3C	0、 1	0x418C		
LC の V_SHIELD	すべての LC の現在の V_SHIELD 電圧を問い合わせ (mV)	読み取り	long*1 4、 56	1	0xDD	0x413	0x01	0x3D	0、 1	0x418D		
LC ガス診断を更新	1 を送信し、LC の現在のガスセンサ値を更新（すべての LC はデータの更新に最大で 6 秒間を要する）	書き込み	byte、 1	1	0xDE	0x413	0x01	0x3E	0、 1	0x418E		
LC のガス濃度	LC の現在のガスセンサ値を問い合わせ (%)	読み取り	long*1 4、 56	1	0xDF	0x413	0x01	0x3F	0、 1	0x418F		
LC 情報を更新	1 を送信し、LC の現在のひょう量、単位、ソフトウェアバージョンを更新 すべての LC はデータの更新に 1 秒間を要する	書き込み	byte、 1	1	0xE0	0x413	0x01	0x40	0、 1	0x4190		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profinet スロット+サブ スロット	Profinet インデックス	WMF	SLP85xD
LCの通信エラーカウント	すべてのLCの現在の通信エラーカウントを問い合わせ。最初は正常で、後にLC通信エラーが発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	long*1 4、56	1	0xE1	0x413	0x01	0x41	0、1	0x4191		
LCの過負荷（正常範囲）のカウント	すべてのLCに関する現在の過負荷（正常範囲）のカウントを問い合わせ。重量が最初は正常で、後にLCの正常ひょう量の101~150%の過負荷が発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	long*1 4、56	1	0xE2	0x413	0x01	0x42	0、1	0x4192		
LCの過負荷（動作範囲）のカウント	すべてのLCに関する現在の過負荷（動作範囲）のカウントを問い合わせ。重量が最初は正常で、後にLCの正常ひょう量の150%を超える過負荷が発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	long*1 4、56	1	0xE3	0x413	0x01	0x43	0、1	0x4193		
LCの温度超過（正常範囲）のカウント	すべてのLCに関する現在の温度超過（正常範囲）のカウントを問い合わせ。最初は正常で、後にLCの正常範囲を超える温度が発生した場合、エラーカウントは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	long*1 4、56	1	0xE4	0x413	0x01	0x44	0、1	0x4194		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profinet スロット+サブスロット	Profinet インデックス	WMF	SLP85xD
LCの温度超過（動作範囲）のカウン ト	すべてのLCに関する現在の温度超過（動作範囲）のカウン トを問い合わせ。最初 は正常で、後にLCの動作範囲を超える温 度が発生した場合、エラーカウン トは1ずつ増えます。int型、範囲0~65535	読み取り	long*1 4、56	1	0xE5	0x413	0x01	0x45	0、1	0x4195		
温度 RunFlat がトリガされた後の LCの温度超過（動作範囲）の カウン ト	温度 RunFlat がトリガされた後のすべての LCに関する現在の温度超過（動作範囲） のカウン トを問い合わせ。最初は正常 で、後にLCの動作範囲を超える温度が発 生した場合、エラーカウン トは1ずつ増え ます。int型、範囲0~65535。動作範囲 はLCのタイプによって異なります（イン デックス 736）	読み取り	long*1 4、56	1	0xE6	0x413	0x01	0x46	0、1	0x4196		
PLC 通信障害のカウン ト	ケーブル/PLC/機器の障害。フィールドバ スの接続が失われるたびにカウン トは1ずつ増えます	読み取り	unsigned short、 2	1	0xE7	0x413	0x01	0x47	0、1	0x4197		
はかり過負荷カウン ト	はかり過負荷カウン ト	読み取り	unsigned short、 4	1	0xE8	0x413	0x01	0x48	0、1	0x4198		
はかり校正カウン ト	はかり校正カウン ト	読み取り	unsigned short、 4	1	0xE9	0x413	0x01	0x49	0、1	0x4199		
はかりゼロ点設定コマ ンドのカウン ト	はかりゼロ点設定コマ ンドのカウン ト	読み取り	unsigned short、 4	1	0xEA	0x413	0x01	0x4A	0、1	0x419A		
はかりゼロ点設定コマ ンドの失敗 カウン ト	はかりゼロ点設定コマ ンドの失敗 カウン ト	読み取り	unsigned short、 4	1	0xEB	0x413	0x01	0x4B	0、1	0x419B		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
自動事前充填	自動事前充填の設定	読み取り/書き込み	Struct 32	1	0xEF	0x414	0x01	0x01	0、1	0x4201		X
材料充填時間	材料充填時間の設定	読み取り/書き込み	Uint 16	1	0xF0	0x414	0x01	0x02	0、1	0x4202		X
自動再充填	自動再充填の設定	読み取り/書き込み	Uint 8	1	0xF1	0x414	0x01	0x03	0、1	0x4203		X
目標重量	目標重量の設定	読み取り/書き込み	Struct 128	1	0xF2	0x414	0x01	0x04	0、1	0x4204		X
最適化機能	最適化機能の設定	読み取り/書き込み	Struct 24	1	0xF3	0x414	0x01	0x05	0、1	0x4205		X
重量モニタ機能	重量モニタ機能の設定	読み取り/書き込み	Struct 480	1	0xF4	0x414	0x01	0x06	0、1	0x4206		X
時間モニタ機能	時間モニタ機能の設定	読み取り/書き込み	Struct 320	1	0xF5	0x414	0x01	0x07	0、1	0x4207		X
フィルタ安定性基準	充填安定性基準の設定	読み取り/書き込み	Struct 64	1	0xF6	0x414	0x01	0x08	0、1	0x4208		X
充填段階	充填段階の設定	読み取り/書き込み	Struct 480	1	0xF7	0x414	0x01	0x09	0、1	0x4209		X
自動風袋引き	自動風袋引きの設定	読み取り/書き込み	Struct 192	1	0xF8	0x414	0x01	0x0A	0、1	0x420A		X
デジタル出力機能	デジタル出力機能の設定	読み取り/書き込み	Struct 80	1	0xF9	0x414	0x01	0x0B	0、1	0x420B		X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
排出機能	排出機能の設定	読み取り/ 書き込み	Struct 48	1	0xFA	0x414	0x01	0x0C	0、1	0x420C		X
充填統計	充填統計	読み取り	Struct 224	1	0xFB	0x414	0x01	0x0D	0、1	0x420D		X
充填統計クリア	充填統計クリア	書き込み	Uint 8	1	0xFC	0x414	0x01	0x0E	0、1	0x420E		X
充填アプリケーションのステータス	充填アプリケーションのステータス	読み取り	Uint 16	1	0xFD	0x414	0x01	0x0F	0、1	0x420F		X
充填ステータスを報告	充填状態を報告	読み取り	Uint 8	1	0xFE	0x414	0x01	0x10	0、1	0x4210		X
充填制御ステータス	充填制御	書き込み	Uint 8	1	0xFF	0x414	0x01	0x11	0、1	0x4211		X
計量モード	計量フィルタモード <b>パラメータ:</b> 0 = 汎用計量 2 = 固定フィルタ	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x41	0x415	0x01	0x06	0、1	0x4256	X	X
計量環境	計量フィルタレベル <b>パラメータ:</b> 0 = 非常に安定 1 = 安定 2 = 標準 3 = 不安定 4 = 非常に不安定	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x42	0x415	0x01	0x07	0、1	0x4257	X	X



コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
カットオフ周波数	カットオフ周波数を設定/読み取り <b>パラメータ:</b> 0 = 事前に定義済みの周波数を使用、計量環境で変更可能 0.001~20.0Hz = カットオフ周波数	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x43	0x415	0x01	0x08	0、1	0x4258	X	X
別の重量経路のカットオフ周波数	別の重量経路のカットオフ周波数を設定/ 読み取り	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x69	0x415	0x01	0x0B	0、1	0x4259	X	
地理コード	重力の影響の校正をオフセット <b>パラメータ:</b> -1.0~31.0	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x70	0x416	0x01	0x01	0、1	0x4301		X
重量表示を無効化	1 = 重量表示が無効 0 = 重量表示が有効	読み取り/ 書き込み	バイナリ	1	0x71	0x416	0x01	0x02	0、1	0x4302	X	X
LFT の状態を報告	度量衡スイッチポジションのステータスを 表示 (LFT Y/N)	読み取り	バイナリ	1	0x73	0x416	0x01	0x04	0、1	0x4304		X
ディスプレイ - 省エネモード	「グリーン MT 機能」をオフにするための ディスプレイの時間値	読み取り/ 書き込み	float、4	1	0x78	0x416	0x01	0x09	0、1	0x4309		
初期化	初期化	書き込み	Uint 16	1	0x79	0x416	0x01	0x0A	0、1	0x430A	X	X
最小表示	重量の最小表示を変更 <b>パラメータ:</b> 0 = 1d 1 = 10d 2 = 100d 3 = 1000d 4 = 2d 5 = 5d	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x7A	0x416	0x01	0x0B	0、1	0x430B	X	X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
表示分解能を変更 (M110)	さまざまな表示分解能に対応する-6~6の値	読み取り/書き込み	signed int 8	1	0x7B	0x416	0x01	0x0C	0、1	0x430C		
信号出力周波数の設定	出力周波数信号を読み取り/設定	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x7C	0x416	0x01	0x0D	0、1	0x430D		X
逆計量モード	重量損失用の計量モードを設定	読み取り/書き込み	バイナリ	1	0x7D	0x416	0x01	0x0E	0、1	0x430E		X
RS422/RS485 回線の終端を設定	RS422/485 回線の終端を設定	読み取り/書き込み	Struct 16	1	0x7E	0x416	0x01	0x0F	0、1	0x430F		X
一般的なタイムアウト	発行されたコマンドのタイムアウト パラメータ: 0~65535 秒間	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x46	0x417	0x01	0x01	0、1	0x4351	X	X
ゼロ点設定の観察時間	ゼロ点設定の安定化時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x48	0x417	0x01	0x03	0、1	0x4353	X	X
ゼロ点設定の許容誤差	ゼロ点設定の安定性に関する桁数を報告 (d) パラメータ: 0.25~1000 桁	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x49	0x417	0x01	0x04	0、1	0x4354	X	X
風袋引きの観察時間	風袋引きの安定化時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x4A	0x417	0x01	0x05	0、1	0x4355	X	X
風袋引きの許容誤差	風袋引きの安定性に関する桁数を報告 (d) パラメータ: 0.25~1000 桁	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x4B	0x417	0x01	0x06	0、1	0x4356	X	X
計量の観察時間	重量の安定化時間を報告 パラメータ: 0.1~4.0 秒間	読み取り/書き込み	Float 32	1	0x4C	0x417	0x01	0x07	0、1	0x4357	X	X

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
計量許容誤差	重量の安定性に関する桁数を報告 (d) パラメータ: 0.25~1000 桁	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x4D	0x417	0x01	0x08	0、1	0x4358	X	X
算出された最小許容間隔の値	算出された最小許容間隔の値	読み取り/ 書き込み	Float 32	1	0x5A	0x417	0x01	0x15	0、1	0x4365		X
d、きざみ	使用可能な最小桁数	読み取り	Float 32	1	0x5B	0x417	0x01	0x16	0、1	0x4366	X	
Nmax (最大ひょう量)	はかり/センサひょう量	読み取り	Float 32	1	0x5C	0x417	0x01	0x17	0、1	0x4367	X	X
自動ゼロ点設定を追跡	自動ゼロ点設定機能を有効化/無効化 パラメータ: 0 = 無効 1 = 有効	読み取り/ 書き込み	Uint 8	1	0x63	0x417	0x01	0x1E	0、1	0x436E	X	X
起動時ゼロ点設定	起動時ゼロ点設定モードを有効化/無効化 パラメータ: 0 = 無効 1 = 有効	読み取り/ 書き込み	Uint 8	1	0x64	0x417	0x01	0x1F	0、1	0x436F	X	X
各 LC の総重量を報告	個々のロードセルの総重量値を報告。15 個の要素からなる浮動小数点値の配列に置 かれます。最初の要素ははかりの総重量 の合計です。その後には個々の重量値が配 列の以降の要素として続きます。使用可 能なすべてのロードセルが使用されてい ない場合、未使用のすべての配列要素で0の 値が報告されます。	読み取り	Struct	2	0xB0	0x417	0x01	0x24	0.1	0x4374		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
各 LC の正味重量を報告	個々のロードセルの正味重量値を報告。15 個の要素からなる浮動小数点値の配列に置かれます。最初の要素ははかりの正味重量の合計です。その後には個々の重量値が配列の以降の要素として続きます。使用可能なすべてのロードセルが使用されていない場合、未使用のすべての配列要素で 0 の値が報告されます。	読み取り	Struct	2	0xB1	0x417	0x01	0x25	0.1	0x4375		
#1 入力の極性を報告	設定時の入力の極性を確認	読み取り	byte、1	2	0x10	0x418	0x01	0x01	0、1	0x4401		
#1 入力の極性を書き込み	設定時の入力の極性を確認	書き込み	byte、1	2	0x10	0x418	0x01	0x01	0、1	0x4401		
#1 入力の割り当てを報告	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	読み取り	byte、1	2	0x11	0x418	0x01	0x02	0、1	0x4402		
#1 入力の割り当てを書き込み	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	書き込み	byte、1	2	0x11	0x418	0x01	0x02	0、1	0x4402		
#2 入力の極性を報告	設定時の入力の極性を確認	読み取り	byte、1	2	0x13	0x418	0x01	0x04	0、1	0x4404		
#2 入力の極性を書き込み	設定時の入力の極性を確認	書き込み	byte、1	2	0x13	0x418	0x01	0x04	0、1	0x4404		
#2 入力の割り当てを報告	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	読み取り	byte、1	2	0x14	0x418	0x01	0x05	0、1	0x4405		
#2 入力の割り当てを書き込み	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	書き込み	byte、1	2	0x14	0x418	0x01	0x05	0、1	0x4405		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブ スロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
#3 入力の極性を報告	設定時の入力の極性を確認	読み取り	byte、 1	2	0x16	0x418	0x01	0x07	0、 1	0x4407		
#3 入力の極性を書き込み	設定時の入力の極性を確認	書き込み	byte、 1	2	0x16	0x418	0x01	0x07	0、 1	0x4407		
#3 入力の割り当てを報告	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	読み取り	byte、 1	2	0x17	0x418	0x01	0x08	0、 1	0x4408		
#3 入力の割り当てを書き込み	アプリケーションに依存、0 = なし、1 = 風袋引きクリア、2 = 風袋引き、3 = ゼロ点設定など	書き込み	byte、 1	2	0x17	0x418	0x01	0x08	0、 1	0x4408		
出力の極性を報告	出力の極性を読み取り	読み取り	byte、 1	2	0x1C	0x418	0x01	0x0D	0、 1	0x440D		
出力の極性を書き込み	出力の極性を書き込み	書き込み	byte、 1	2	0x1C	0x418	0x01	0x0D	0、 1	0x440D		
#1 出力の割り当てを報告	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	読み取り	byte、 1	2	0x1D	0x418	0x01	0x0E	0、 1	0x440E		
#1 出力の割り当てを書き込み	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	書き込み	byte、 1	2	0x1D	0x418	0x01	0x0E	0、 1	0x440E		
#2 出力の割り当てを報告	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	読み取り	byte、 1	2	0x24	0x418	0x01	0x15	0、 1	0x4415		
#2 出力の割り当てを書き込み	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	書き込み	byte、 1	2	0x24	0x418	0x01	0x15	0、 1	0x4415		
#3 出力の割り当てを報告	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	読み取り	byte、 1	2	0x2B	0x418	0x01	0x1C	0、 1	0x441C		
#3 出力の割り当てを書き込み	アプリケーションに基づく値: 0、 1、 2、 3、 4、 5 など	書き込み	byte、 1	2	0x2B	0x418	0x01	0x1C	0、 1	0x441C		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
#4 出力の割り当てを報告	アプリケーションに基づく値: 0、1、2、3、4、5 など	読み取り	byte、1	2	0x32	0x418	0x01	0x23	0、1	0x4423		
#4 出力の割り当てを書き込み	アプリケーションに基づく値: 0、1、2、3、4、5 など	書き込み	byte、1	2	0x32	0x418	0x01	0x23	0、1	0x4423		
#5 出力の割り当てを報告	アプリケーションに基づく値: 0、1、2、3、4、5 など	読み取り	byte、1	2	0x39	0x418	0x01	0x2A	0、1	0x442A		
#5 出力の割り当てを書き込み	アプリケーションに基づく値: 0、1、2、3、4、5 など	書き込み	byte、1	2	0x39	0x418	0x01	0x2A	0、1	0x442A		
最後の動的重量値	最後の動的重量値	読み取り	Float 32	2	0x90	0x41A	0x01	0x01	0、1	0x4501		
動的重量の算出回数	動的重量の算出回数 (カウント)	読み取り	Uint 32	2	0x92	0x41A	0x01	0x03	0、1	0x4503		
最大動的重量値	最大動的重量	読み取り	Float 32	2	0x93	0x41A	0x01	0x04	0、1	0x4504		
最小動的重量値	最小動的重量	読み取り	Float 32	2	0x94	0x41A	0x01	0x05	0、1	0x4505		
平均動的重量値	平均動的重量	読み取り	Float 32	2	0x95	0x41A	0x01	0x06	0、1	0x4506		
最後の 20 個の動的重量の標準偏差	最後の 20 個の動的重量の標準偏差	読み取り	Float 32	2	0x96	0x41A	0x01	0x07	0、1	0x4507		
構造を使用した入力設定 (DIN/SICS 文字列)	構造を使用した入力設定 (DIN/SICS 文字列)	読み取り/書き込み	Struct	2	0x41	0x418	0x01	0x32	0、1	0x4432		X
出力信号を書き込み	機器の出力ポートを手動で制御。high 値は、対応する出力を強制的に high にします。 たとえば、リトルエンディアンフォーマットを使用している場合、00011101 では出力 0、2、3、4 が high になり、出力 1 は low になります。	書き込み	Byte、1	2	0x42	0x418	0x01	0x33	0、1	0x4433		

コマンド	説明	読み取り/書き込み	データタイプ	Profibus スロット	Profibus インデックス	EIP クラスコード	EIP インスタンス値	EIP 属性#	Profibus スロット+サブスロット	Profibus インデックス	WMF	SLP85xD
目標重量を報告	目標重量を報告	読み取り	Float 32	2	0x5F	0x419	0x01	0x10	0、1	0x4460	X	X
float32 を読み取り	浮動小数点変数をテスト - 常に 123.45 を読み取り - 書き込みは許可されない	読み取り	Float 32	1	0x0A	0x30F	0x01	0x01	0、1	0x5000	X	X
float32 を書き込み	浮動小数点変数をテスト - テストを除き、機器では使用されない	書き込み	Float 32	1	0x0B	0x30F	0x01	0x02	0、0	0x5001	X	X
uint16 を読み取り	整数値をテスト - 常に 9876 を読み取り	読み取り	Uint 8	1	0x0C	0x30F	0x01	0x03	0、1	0x5002	X	X
uint16 を書き込み	整数変数をテスト - テストを除き、機器では使用されない	書き込み	Uint 8	1	0x0D	0x30F	0x01	0x04	0、1	0x5003	X	X
文字列を読み取り	文字列変数をテスト - 常に「ABCD」を読み取り	読み取り	String 160	1	0x0E	0x30F	0x01	0x05	0、1	0x5004	X	X
文字列を書き込み	文字列変数をテスト - 常に「ABCD」を読み取り	書き込み	String 160	1	0x0F	0x30F	0x01	0x06	0、1	0x5005	X	X
uint32 を読み取り	long 整数変数をテスト - 常に 98765 を読み取り	読み取り	Long	1	0x10	0x30F	0x01	0x07	0、1	0x5006	X	X
uint32 を書き込み	long 整数変数をテスト - テストを除き、機器では使用されない	書き込み	Long	1	0x11	0x30F	0x01	0x08	0、1	0x5007	X	X
uint8 を読み取り	バイト変数をテスト - 常に 56h を読み取り	読み取り	byte、1	1	0x12	0x30F	0x01	0x09	0、1	0x5008	X	X
uint8 を書き込み	バイト変数をテスト - テストを除き、機器では使用されない	書き込み	byte、1	1	0x13	0x30F	0x01	0x10	0、1	0x5009	X	X

## METTLER TOLEDO Service

### いつまでもベストコンディション

メトラー・トレドの品質と精度をお選びいただきありがとうございます。これらの指示に従って正しく使用し、当社の訓練を受けた専門のサービス担当者による定期的な校正とメンテナンスを実施することにより、信頼性の高い動作が保証され、投資が保護されます。お客様のニーズとご予算に応じた保守契約については弊社にご相談ください。

[www.mt.com/productregistration](http://www.mt.com/productregistration)でお客様の製品をご登録いただくと、機能向上、アップデート、製品に関する重要なお知らせなどの情報提供サービスをご利用いただけます。

[www.mt.com](http://www.mt.com)

詳細はウェブサイトへ

**Mettler-Toledo, LLC**  
1900 Polaris Parkway  
Columbus, OH 43240

© 2021 Mettler-Toledo, LLC  
30688170 Rev. 00, 06/2021



30688170